

令和6年度（2024）全国都道府県対抗男女駅伝競走大会
代表選手選考基準

● 選考方法

- ① 各大会とも、代表選手選考基準をもとに強化部会で選考する。
- ② 選考は、次の手順で行う。
 - ・各大会の選手選考は、選考基準及び手順①～③の順で選考する。
 - ・選手選考基準を満たしている選手でも、選考時に故障や体調不良と判断した選手は、選考の対象から外すことがある。
- ③ 記録は全て公認記録とする。
 - ・県外競技会で選考基準を突破した選手の顧問・監督は、必ず強化部長に記録証のコピーを郵送すること。

● 選考基準及び手順

◆ 第43回全国都道府県対抗女子駅伝 2025年1月12日（日） 京都市

〈 一般 〉 いるさと選手がいる場合には、出場依頼をする。

- ① 日本陸上競技選手権大会5000m・10000m入賞者。
 - ② ①の条件で規定の人数が選考できない場合、4月1日から12月8日までに10000m33分00秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
 - ③ ①②の条件で規定の人数が選考できない場合、4月1日から12月8日までに5000m16分00秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
- * 4月1日から12月8日までの競技会成績・記録・ロードレース・駅伝等の結果を総合的に判断して選考することがある。

〈 高校生 〉

- ① 全国高等学校総合体育大会3000m出場者から3名選出する。
- ② ①の条件で規定の人数が選考できない場合、4月1日から12月1日までの3000m記録上位者から選考の対象とする。

〈 中学生 〉

- ① 全日本中学校陸上競技選手権大会1500m決勝進出者。ただし、複数名進出をした場合には決勝の結果の上位2名までを選考する。
- ② ①の条件で規定の人数が選考できない場合、最終選考会「11月24日（日）」3000mの記録で、原則的に上位の選手から選考する。

一般・高校・中学の都道府県対抗駅伝代表選手は12/28の練習会と1/4,5の合宿に原則参加するものとする。

◆ 第30回全国都道府県対抗男子駅伝 2025年1月19日(日) 広島市

〈 一般 〉 ふるさと選手がいる場合には、出場依頼をする。

- ① 日本陸上競技選手権大会5000m・10000m入賞者。
 - ② ①の条件で規定の人数が選考できない場合、4月1日から12月8日までに10000m28分10秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
 - ③ ①②の条件で規定の人数が選考できない場合、4月1日から12月8日までに5000m13分40秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
- * 4月1日から12月8日までの競技会成績・記録・ロードレース・駅伝等の結果を総合的に判断して選考することがある。

〈 高校生 〉

- ① 全国高等学校総合体育大会5000m出場者から3名選出する。
- ② ①の条件で規定の人数が選考できない場合、4月1日から12月1日までの5000m記録上位者から選考の対象とする。

〈 中学生 〉

- ① 全日本中学校陸上競技選手権大会3000m決勝進出者。ただし、複数名進出をした場合には決勝の結果の上位2名までを選考する。
- ② ①の条件で規定の人数が選考できない場合、最終選考会「11月24日(日)」3000mの記録で、原則的に上位の選手から選考する。

一般・高校・中学の都道府県対抗駅伝代表選手は12/28の練習会と1/4,5の合宿に原則参加するものとする。

一般財団法人 神奈川陸上競技協会